

住民が安心して住み続けられるための地域医療を！
地域医療を守る共同行動
みやぎ連絡会
News

2023.9.8.FRI No.153

発行／地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会事務局
〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町39-18 (民医労内)
TEL 022-782-0633 / FAX 022-782-0634

宮城県精神保健福祉審議会
村井知事“名取に民間精神科病院誘致”新提案
知事案賛成ゼロ、審議会「認められない」



(精神保健福祉審議会に新提案を示した村井知事(前列右2番目))

8月31日(木)今年度3回目となる宮城県精神保健福祉審議会には、村井知事が出席し、名取市に民間精神科病院開設するための公募を行う新提案が示されましたが、委員からは「現実的ではない」など反対意見が相次ぎ、「提案は認められない」という意見をとりまとめました。

この審議会では新提案説明にあたり、村井知事から「説明をして資料配付する」との提案がありましたが、委員から「資料が先」との強い反発の声におされ、結局、知事自ら先に資料配付を指示する一幕から始まった審議会でした。※詳細につきましては各種報道をご覧ください。

この村井知事<新提案>を受けて、委員からは「県の新たな提案には驚いたが、経営が成り立つはずもなく、現実的ではない。」などの意見が出されるなど、新提案支持する意見はありませんでした。

知事は「公約」を強調し、自ら掲げた病院の再編計画に同意するよう審議会に強く求めた発言が、火に油を注ぐかたちとなり、「我々にとって知事の進退は関係ないお話」と新提案への決議も行われ、参加した16人の委員のうち反対が11人、保留が5人、賛成はゼロ。村井知事からは「私がやったことに対して止めることができるのは、県議会だけ」と発言。審議会との決裂は決定的となりました。

県の精神医療・保健・福祉システムの継続性の確保に向けた施策

- 県の精神科医療の政策課題解決に向けて、県立精神医療センターの富谷市への移転が必要
- 精神医療・保健・福祉システムの継続性の確保 ⇒ 県南に、外来機能に加え、患者の急性増悪に対応できる入院機能（病床）の確保の必要性
- 名取以南及び富谷をはじめとした、各地域における「にも包括」推進のための予算と組織体制の拡充の必要性

施策の柱① 官民連携による精神科新病院の名取市内への開設

施策の柱② 「にも包括」に関する事業、予算の大幅拡充

施策の柱③ 精神保健福祉に関する県組織体制の強化

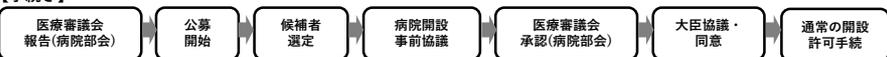
施策の柱① 官民連携による精神科新病院の名取市内への開設

県南の精神疾患患者の医療提供体制を確保するため、外来機能等に加え、入院機能を備えた官民連携による精神科新病院を名取市内に開設し、患者の急性増悪時の入院対応などにより、地域生活を支える体制を整備します。

開設主体・手続き

- 公募により募集し、選定した法人を開設の候補主体とする。
- 公的医療機関を含む病院再編の特例協議(法第30条の4第10項)案件として厚生労働大臣に協議し、同意を得ることが前提

【手続き】



求める診療機能

- ①外来機能 ②デイケア機能 ③訪問看護機能 ④入院機能(急性期又は急性増悪対応) ⑤地域連携室

病床規模等

- 精神医療センターの移転に伴う減床分(88床)と、提案事業者自らが県内で運営する病院の一部または全部の病床を移転させた分(α床)の合計を下回る病床数
- 名取市内の県有地(現高等看護学校用地約6,700m²)の無償貸与を想定

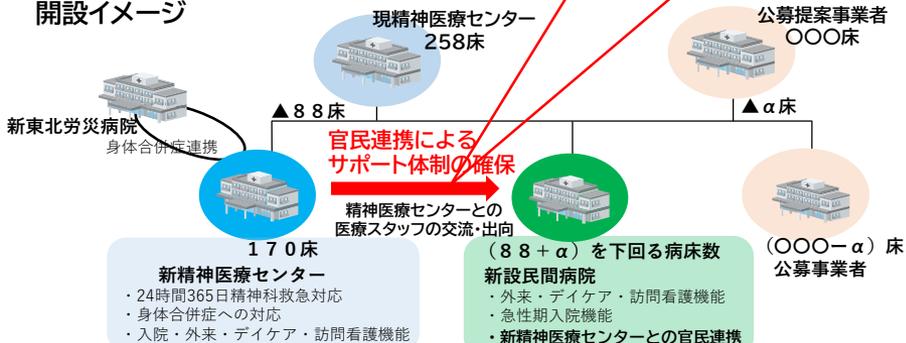
応募の要件

- 県内に精神科病院を有する法人であり、精神医療に実績を有すること
- 新精神医療センターとの官民連携により、県南での医療の継続性や患者との信頼関係の維持に努めること
- 既存の社会資源、行政との連携により、県南地域の「にも包括体制」の構築・充実に積極的に貢献すること

精神医療センタースタッフの outgoing 等により、患者との信頼関係を維持するとともに、ノウハウの継承を進めます。

- ・当分の間、病院及び訪問看護等へ、精神医療センタースタッフが outgoing するなどして、南の診療機能をサポート
- ・これまで培ってきた「にも包括」の体制を官民連携の中で、ノウハウとともに継承

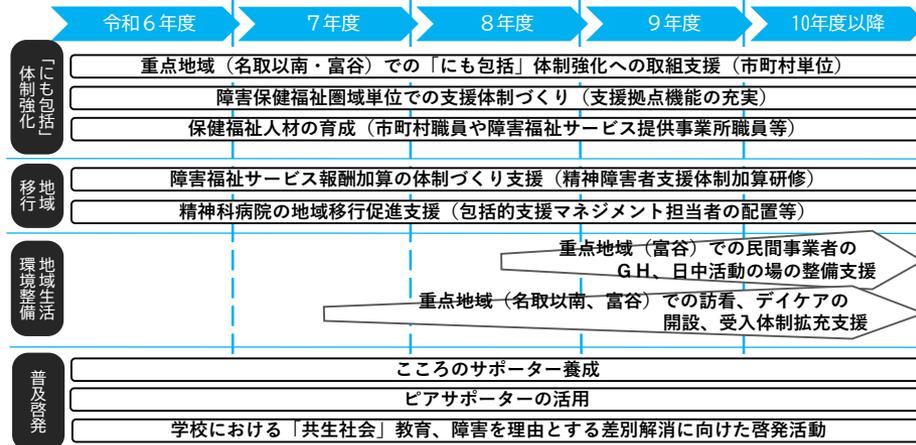
開設イメージ



施策の柱② 「にも包括」に関する事業、予算の大幅拡充

「にも包括」の推進に向けた事業・予算を大幅拡充・確保し、計画的に継続した取組を進めることで、名取以南・富谷の重点地域をはじめとした全域での体制づくりを進めます。

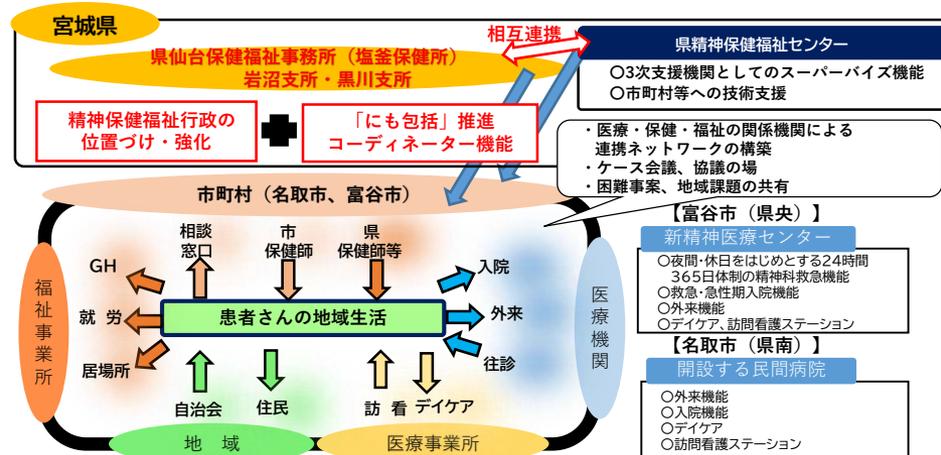
◎「にも包括」推進施策パッケージのイメージ例 ※予算規模等については、令和6年度予算編成に合わせて検討



施策の柱③ 精神保健福祉に関する県組織体制の強化

重点地域の精神保健分野の支援強化を目的に、仙台保健福祉事務所・同岩沼支所・同黒川支所の管轄エリアにおける体制強化を図ります。

◎県組織体制の強化イメージ図





令和5年度第三回宮城県精神保健福祉審議会
(2023年8月31日開催)
< 配布資料 >

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seihosui/seishinhokenshingikai-r5.html>
村井知事 < 新提案 > はこちらから



令和5年度第一回宮城県医療審議会病院部会
(2023年9月4日開催)
< 配布資料 >

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu/byouinbukai.html>



会議開催のお知らせ

令和5年度 宮城県精神保健福祉審議会（第4回）

- と き 令和5年9月13日（水）
午後6時30分から午後8時まで
- 場 所 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
宮城県行政庁舎9階 第一会議室
- 内 容 1 宮城県立精神医療センター建替え計画の進め方について
2 名取市における宮城県立精神医療センター建替え案につ
いて
3 富谷移転及び官民連携による精神科新病院の名取市内へ
の開設案を含む県の精神医療・保健・福祉システムの継続性
の確保に向けた施策について
4 今後の計画の進め方について
- 傍聴定員 10名

病院部会開催は「条例違反」市民団体 要綱を無視と抗議

医療関係団等で作る地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会では、9月4日開催の県医療審議会病院部会が、県情報公開条例違反での告知・開催となっていることについて「抗議文」を村井知事及び県医療審議会医療部会宛に提出しました。

この条例の事務取扱要綱では、審議会などを公開または一部公開で開催する際、事前の周知を義務付ける。「少なくとも開催の日の7日前までに」ホームページ等に日時や場所、議題を掲載すると定めています。

今回の病院部会の開催告知は3日前の1日。

県政記者クラブで会見では「県民が当たり前に情報を知るということを基本的に踏みにじるもの。どの審議会にも県民が立ち会える民主主義を基本的に保証しなさいと抗議した」とし、「村井知事の意向が職員を縛り、本来の形で開催ができていないのではないかと危惧する」と訴えました。

2023年9月4日

地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会 宮城県情報公開条例違反のもと告知されている 県医療審議会病院部会開催に対する抗議

宮城県は9月1日付で「令和5年度第1回宮城県医療審議会病院部会」開催告知をHPに掲載した。

県情報公開条例（平成11年宮城県条例第10号）「審議会等の会議の公開に関する事務取扱要綱 第7-2」において＜開催の日前7日までに担当課所のホームページに次に定める事項を掲載＞となっており、本日9月4日、医療審議会病院部会開催要件を満たしていないまま告知がされている。

今回の病院部会では、8月31日宮城県精神保健福祉審議会で知事が示した「仙台医療圏における病院再編構想及び精神科新病院の開設者募集について」の報告とされており、今後の精神医療の行く末に大きな影響を及ぼす議題である。

村井知事が進める4病院再編構想が、県民や関係者からの反発の声が日増しに強まる中で、「県政に対する県民の理解と信頼を確保し、公正で開かれた県政の発展に寄与することを目的とする」とした、県情報公開条例を自ら踏みにじり強引に進めることは、今後の審議会等の開催についても大きな影響が懸念され、情報公開条例そのものがないがしろにされることは断じて許すことはできない。

ついでには、県立精神医療センター移転問題に関わる重要案件を、宮城県情報公開条例違反のもとで強引に進めることに抗議し、再度、情報公開条例に基づいた手続きを踏み開催するよう強く求めるものである。

以上

(注 / 報道記事転載の為、組織内資料扱)

2023年9月01日 河北新報

4病院再編

名取に民間精神科病院

宮城県公募へ 県南患者に対応

宮城県が主導する仙台医療圏4病院の再編構想で、県は31日、県立精神医療センター(名取市)の富谷市移転後の県南の精神科患者への対応に関し、名取市に民間の精神科病院を新たに開設する案を示した。県内で精神科病院を運営する法人を対象に、新病院の開設者を公募する。センターと周辺の福祉施設などの連携体制を継承するため、新病院に職員を当面出向させ、官民連携で運営に当たる。(12面に関連記事)

県庁で同日あった真精神保健福祉審議会で明らかにした。会議に出席した村井嘉浩知事は「これまでの懸念を払拭できる」と述べ

たが、複数の委員が実現性を疑問視。今回の提案を踏まえた富谷市移転への賛否の採決は反対多数となったが、村井知事は公募手

続きを進める考えを示した。新病院は外来診療と急性期患者の入院に対応し、デイケア、訪問看護、福祉施

設などとの地域連携機能を持たせる。建設地は来年3月に閉校する県高等看護学校の敷地(6700平方メートル)を無償貸与するとした。新病院開設は国の病床削減方針に合致させるため、公募に応じた法人が既存病院の病床を減らすことが前提。この削減数と、センターが移転に伴い減らす88

床の合計を最低1床下回る数が、新病院の病床数となる。県は敷地面積から120床程度が上限と説明した。県はさらに、精神科患者らの地域移行を推進する、いわゆる「にも包括」(精神障害にも対応した地域包括ケアシステム)に関する予算の大幅拡充と、精神保健福祉に関する県組織体制の強化の方針を示した。県南患者への対応に関して県はこれまで、県立がんセンター(名取市)と仙台赤十字病院(仙台市太白区)を統合する名取市の新病院に精神科外来機能を持たせると説明していたが、入院機能がないことなどに疑問が出ていた。

知事提案に異論続出

4病院再編「名取に新病院」

精神保健審賛成ゼロ



県立精神医療センター（名取市）の富谷市移転構想を議論した31日の県精神保健福祉審議会は、村井嘉浩知事が会合に乗り込んで直接説明を試みる展開となった。これまで具体性のなさを批判されていた県南患者の受け皿について民間病院を誘致する新しい案に対しても、委員からは異論が続出。採決の結果、今回の提案での富谷市移転に反対

が多数となり、賛成はゼロだった。
（1面に関連記事）
「今までいただいた意見を私なりにかみ砕いた」。名取市に新しく民間病院を開設する村井知事の提案を、多くの委員が驚きをもつて受け止めた。
岩館敏晴委員（県精神科病院協会会長）は「アイデアとしては分かるが、現実的に考えて手を挙げる病院があるか」と首をかしげた。別の委員は「急に示されたことに戸惑いを禁じ得な

い」と語った。
村井知事は「まずやらせてほしい。だめなら別の手を考えるが、結果として（移転が）できなければ、白旗を揚げて知事を辞職する」と迫ったが、委員の1人は「知事の進退は関係ない」と鼻白んだ。

算拡充などほいいことだ」と述べた一方、名取市に開設する病院は「（県立の）サテライトという形で残してもらおうのが本当はよかつた」と語った。

ることができるのは県議会だけだ」と病院公募を実施する意向を示したため、審議会の意見を明確にするこ

と語った。
「知事の進退は関係ない」と鼻白んだ。
角藤芳久委員（県立精神医療センター院長）は「予

唐突な提案に今回は審議を途中で打ち切る意見も出たが、村井知事が「どのよう

提案での富谷市移転について、出席委員17人（うち1人は途中退席）のうち、反対は11、保留は5で、賛成はいなかった。

精神医療センター移転構想

78団体が反対声明

精神科病院協会

県が主導する県立精神医療センター（名取市）の富谷市移転構想を巡り、県精神科病院協会（岩館敏晴会長）は31日、移転反対の声明をウェブサイトで公表し

た。賛同団体は県内の医療団体、家族会など78団体に上り、協会は「置き去りにされた当事者の不安な思いが集約された」と訴える。協会はセンターの移転で

県南の精神科患者の受け皿がなくなることや、センターと周辺福祉施設などが連携する地域包括ケアの仕組みが崩れることを懸念している。声明は「私たちは現

在県が進めているセンターの移転を到底認めるわけにはいかない」と強調した。

賛同団体の内訳は仙台市医師会、県精神神経科診療所協会など医療団体14団体、相談支援事業所やグループホームなどの福祉施設

16団体、病院や診療所などの医療機関42団体、県精神障がい者家族連合会などの当事者団体や家族会6団体。

県精神科病院協会は「これまで移転に明確な反対がなく、『当事者参画などの

原則を踏まえた政策決定』などを要望していた団体も賛同してくれた。県のこれまでの姿勢への批判と受け止めている」と説明した。

同協会は1〜30日に賛同団体を募集。声明は村井嘉浩知事宛てに提出もした。

精神科の新病院、名取市に開設案 4病院再編めぐり知事が説明

<https://www.asahi.com/articles/ASR807SZJR80UNHB00L.html>



2023年9月01日 朝日新聞

宮城県が主導する4病院の再編構想を巡り、県は31日の県精神保健福祉審議会で、名取市内に外来と入院機能を備えた精神科の新病院を官民連携で開設する考えを示した。再編構想では、県立精神医療センターの名取市から富谷市への移転に反対の声が強まっており、懸念を払拭（ふっしょく）する狙いがある。

県によると、県内に精神科病院を持つ法人を対象に、新病院の開設主体を公募。名取市内の県有地を無償で貸与し、外来やデイ

ケア、訪問看護、入院などの機能を持たせる。そのうえで精神医療センターのスタッフを外向させ、「患者との信頼関係を維持するとともにノウハウの継承を進める」という。

審議会に出席した村井嘉浩知事は再編構想について、「選挙公約だったので必ず実現しなければならない」と述べ、「こうした対応で懸念材料が払拭されるのではないか」と話した。

再編構想は、精神医療センターを東北労災病院（仙台市）と合築して富谷市に、仙台赤十字病院（仙台市）を県立がんセンター（名取市）と統合して名取市に設置するもの。県は仙台市内に集中する病院を分散化する一方、施設の老朽化対策も進められると説明している。

県はこれまで、仙台赤十字病院とがんセンターを統合する新病院に精神科の外来機能を設けるとしていたが、入院機能がないことなどを理由に、当事者や医療関係者らから移転に反対の声が広がっていた。

この日の審議会では、県が示した新病院の開設案について、「経営的にやれるという民間病院が見つかるのか。現実的に考えて手を挙げる病院があるのか」などと委員から実現性を疑問視する声が出た。（中島嘉克）

「白紙の状態に謙虚に県民の意見を聞く姿勢に戻っていただきたい」

仙台医療圏4病院の再編に“反対”の抗議活動

「近く再編の一部での基本合意か」宮城

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/693079?display=1>



2023年9月01日 tbc東北放送

宮城県が構想する仙台医療圏の4病院再編を巡って、富谷市移転が計画される県精神医療センターの最寄りのJR名取駅前で市民団体が再編の反対を訴えました。

街頭演説：

「4病院再編の持っている不当性を是非みんなと考えていきたい」

JR名取駅前、31日朝開かれた集会では、

市民団体のメンバーおよそ30人がピラを配るなどしながら抗議活動を行ないました。

県の構想は、名取市の県立精神医療センターと青葉区の東北労災病院を富谷市に、太白区の仙台赤十字病院と名取市の県立がんセンターを統合して名取市に、移転するものです。

地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会 岩倉政城共同代表：

「この4病院の再編問題を冷静に見直す。白紙の状態で謙虚に県民の意見を聞く、そういう姿勢に戻っていただきたい」

知事 名取に別の精神科病院設ける案 審議会“認められない”

<https://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20230901/6000024788.html>



2023年9月01日 NHK仙台放送

宮城県の村井知事は、名取市にある県立精神医療センターを富谷市に移転させる計画に関連し、県南部で精神科の医療提供体制を維持するとして、名取市に別の精神科病院を設ける案を県の審議会に示しました。これに対し委員からは「現実的ではない」など反対意見が相次ぎ、提案は認められないという意見を取りまとめました。

宮城県が進める病院の再編計画をめぐり、名取市にある県立精神医療センターと、仙台市にある東北労災病院を、それぞれの経営主体を残したまま富谷市に設置する計画を検討する審議会が、8月31日夜、村井知事も出席して県庁で開かれました。

村井知事は、県南部で精神科の医療提供体制を維持するとして、外来や急性期の入院などの機能を持つ新たな民間の精神科病院を、公募した上で名取市に設ける新たな案を示しました。

その上で「あれもこれもやってダメなら職を辞する覚悟だ」と述べ、新たな案も含めて、みずから公約として掲げた病院の再編計画に同意するよう強く求めましたが、委員からは「採算が取れるとは思えず現実的ではない」など反対意見が相次ぎました。

そして3時間あまりの議論を経て県の提案は認められないという意見を取りまとめました。

【県精神科病院協会会長「現実的ではない」】

審議会に出席した宮城県精神科病院協会の岩館敏晴会長は「県の新たな提案には驚いたが、経営が成り立つはずもなく、現実的ではない。県は、精神科医療について勉強不足だ」と話していました。

また、宮城県医師会の高階憲之常任理事は「村井知事は『公約に掲げたことであり審議会の意見に左右されずに進める』と言うが、私たちは患者さんの立場で県内の精神医療をどうするかということを考えるだけ、新たな案は認められない」と話していました。

【知事「数日以内にも募集要綱を」】

審議会に出席した村井知事は「批判は、私がすべて受け止めなければいけないと思っているので、遠慮なく厳しい意見を出し続けてほしい。精神科の患者さんたちにどうサポート体制を構築すればいいのかという軸はぶらさず、前向きに取り組んでいく」と述べました。

その上で「数日以内にも募集要綱を定め次のステップに進んでいきたい」と述べ、審議会の意見にかかわらず、名取市に新たな病院を設けるため県としてのプロセスを進めていく考えを強調しました。

【精神医療センターの利用者は】

精神医療センターに入退院を繰り返していた60代の男性は懸念を感じています。

男性は「新しい病院と言ってもどこの民間がやってくれるのでしょうか」と実現性に疑問を示しました。

その上で「患者は、主治医との関係が大事です。いまのセンターがなくなったら多くの人が困ると思います」と話し精神医療センターの移転後に新たな病院を設けるだけでは問題の解決にならないという考えを示しました。

4病院再編問題

精神科病院を新たに名取市に誘致・公募へ 宮城・村井知事

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/694946?display=1>



2023年9月01日 tbc東北放送

仙台医療圏の4つの病院を再編する県の構想を巡り村井知事は、精神科がある民間の医療機関を名取市内に誘致する考えを明らかにしました。

これは31日に開かれた県の精神保健福祉審議会に村井知事が出席し明らかにしたものです。

県の構想は仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市に、東北労災病院と県立精神医療センターを併設して富谷市に移転するものです。

特に精神医療センターの移転を巡っては市民団体などが「患者の通院が難しくなる」などと反対しています。村井知事は名取市にある県高等看護学校の跡地を無償で貸し出し、県内に精神科がある民間の医療機関を公募して誘致する考えを示しました。

村井知事「宮城県ですでに実績のある病院がやってもらえれば（精神医療センターの）サテライト機能も十分に果たせると思うのでまずはこの方向で話を前に進めていきたい」

審議会では「医師や看護師が不足しているなか現実性がない」などとして反対多数の意見をとりまとめました。

しかし、村井知事は近日中に公募に向け要項をまとめる姿勢を強調しました。

村井知事「実現できなければ知事を辞めなければならない」

4病院再編で“名取市に別の精神科病院誘致”表明も

審議会委員「知事の進退は関係ないお話です」宮城

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/696007?display=1>



2023年9月01日 tbc東北放送

仙台医療圏の4病院再編を巡り、村井知事は31日の審議会でも、宮城県立精神医療センターを富谷市に移転させる代わりに名取市に、別の精神科病院を誘致する考えを明らかにしました。「4病院再編を実現できなければ知事を辞める」と話し計画に理解を求めましたが、委員からは反対意見が相次ぎました。

村井知事：

「県内で経営実績のある精神科病院の中で、名取市内で新病院を建設してくださる病院があるかどうかを公募してみたい」

これは31日開かれた県の精神保健福祉審議会で村井知事が明らかにしたものです。

県の4病院再編構想は、名取市にある県立精神医療センターと仙台市青葉区の東北労災病院を併設して富谷市に。太白区の仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市に移転させる計画です。構想通り進めば名取市内から公立の精神科病院が無くなります。

「通院が難しくなる」など不安や反対の声が相次いでいることから村井知事は、名取市内に別の民間の精神科病院を誘致して不安を解消したい考えです。

しかし、審議会では…。

県精神科病院協会会長 岩館敏晴委員：

「やってくださいと言って経営的にやれる民間病院は見つからないのでは。（民間病院が）手を挙げなかったらどうされるのか」

また、公約を果たすため計画を進めるといふ知事の姿勢に反発が相次ぎました。

弁護士 草場裕之委員：

「知事は何度も公約のことを言っているが、審議会は政治の場ではない、当事者や医療関係者が集って精神医療や福祉をどうするか議論しているので」

村井知事：「県民に対し約束したわけですから。私が当選した以上は絶対に実現できなければ（知事）を辞めなければならない。だめになったらそれくらいの責任をとるつもりでやっているわけですよ」

県医師会常任理事 高階憲之委員：

「はっきり言って我々にとって知事の進退は関係ないお話です。それをメインに出されても、それでは顔をたてましょう、メンツをたてましょうという話にはならない。患者さんにとって一番良いことは何か優先です」

一方、「公約を決める前に当事者の話を聞いたのか」との質問に対し村井知事は「私の知り合いにも疾患がある人がいるので聞いている」などと答えていました。

村井知事：

「宮城県で、すでに実績のある病院がやってもらえれば（精神医療センターの）サテライト機能も十分に果たせると思うので、まずはこの方向で話を前に進めていきたい」

精神科病院の誘致に対し審議会は「医師や看護師が不足しているなか現実性がない」などとして反対多数の意見をとりまとめましたが、村井知事は近日中に公募に向け要項をまとめる姿勢を強調しました。

村井知事は4病院再編について「民間病院の厳しい経営」や「病院の適正配置」を理由に上げていました。ここにきて新たな病院誘致を打ち出すのはこれまでの説明と整合性がとれるのか。当事者からは「場当たりの患者を第一に考えていない」との厳しい声も聞かれます。9月に開会する議会でも議論が行われる見通しです。

名取に精神科病院誘致へ

4病院再編構想 村井知事が審議会に提案〈宮城〉

<https://nc.ox-tv.co.jp/news/detail/2023090100005>



2023年9月01日 仙台放送

宮城県が主導する4病院の再編構想を巡り、村井知事は8月31日、名取市に新たな精神科病院を開設する考えを示しました。

宮城県 村井 知事

「県内で経営実績のある精神科病院の中で、名取市内で新病院を建設してくださる病院があるかどうかをまずは公募してみたいと思います」

これは31日、県の精神保健福祉審議会で村井知事が明らかにしたものです。4病院の再編とは、太白区の仙台赤十字病院と名取市の県立がんセンターを統合して名取市に。青葉区の東北労災病院と名取市の県立精神医療センターを併設し、富谷市に移転する県の構想です。構想を巡っては、県南の精神医療に関する強い懸念や反発があり、県はこれまで、名取市の新病院に精神科外来機能を持たせる案を示していました。

村井知事は31日、この案を撤回し、来年3月に閉校する名取市の県高等看護学校跡地の無償貸与を条件に、入院も可能な精神科病院を開設する法人を公募する考えを示しました。

宮城県 村井 知事

「これがうまくいけば、今まで皆さんが出された課題は解決できることは間違いないということで、一度チャレンジさせていただきたい」

委員からは「経営的に厳しく民間でやれる病院はない」などの意見が出され、多くの委員が「現時点で反対」としました。

4病院の再編構想を巡っては、県は、今年度中に各病院の経営母体と基本合意を交わしたいとしています。

名取に精神科病院 誘致へ 4病院再編 宮城県が“新提案”

https://youtu.be/v7Q3geayqkc?si=hw3yMjl5_BmWnwMN



2023年9月01日 仙台放送

宮城県が主導する4病院の再編構想を巡り、新たな動きです。県南の精神医療への影響を懸念する声を受け、村井知事は、名取市に新たな精神科病院を誘致する考えを示しました。

8月31日に開かれた、県の精神保健福祉審議会。4病院再編の実現へ村井知事が自ら説明を行いました。

宮城県 村井 知事

「県内で経営実績のある精神科病院の中で、名取市内で新病院を建設してくださる病院があるかどうかをまずは公募してみたいと思います」

4病院の再編とは、太白区の仙台赤十字病院と名取市の県立がんセンターを統合して名取市に。青葉区の東北労災病院と名取市の県立精神医療センターを併設し、富谷市に移転する県の構想です。

構想を巡っては、県南の精神医療のネットワークが崩れるという懸念があり、県はこれまで、名取市に統合する新病院に精神科外来機能を持たせる案を示していましたが、審議会は「認められない」と総括していました。村井知事は8月31日、この案を撤回。新たな案として示したのが新病院の誘致です。

宮城県 村井 知事

「これがうまく行けば今まで皆さんが出された課題は解決できるということは間違いないということで、一度チャレンジさせていただきたい」

来年3月に閉校する名取市の県高等看護学校の跡地を無償で貸すことを条件に、入院も可能な精神科病院を開設する法人を公募します。一方で、土地以外に県からの支援はなく、委員からは懐疑的な意見が出されました。

審議会の委員

「精神医療センターで、県が年間10億出していますよね。どう考えてもこれをやってくださいと言って経営的にやれるという民間病院はちょっと見つからないと思う」

31日の審議会では提案への決議も行われ、参加した16人の委員のうち反対が11人、保留が5人となり、議論を続けていくことになりました。

宮城県 村井 知事

「新病院の募集要項を定めまして、次のステップに進んでまいりたい」

4病院の再編構想を巡っては、県は、今年度中に各病院の経営母体と基本合意を交わしたいとしています。

宮城県の病院再編構想

名取市に精神医療民間病院を誘致する考え 村井知事

<https://www.khb-tv.co.jp/news/14995023>



2023年9月01日 khb東日本放送

宮城県が進める仙台医療圏4病院の再編構想で、名取市の県立精神医療センターを富谷市へ移す計画への反対が収まりません。事態を打開しようと、村井知事は名取市に新たに精神医療を担う民間病院を誘致する考えを示しました。

県は、老朽化した精神医療センターを東北労災病院と合築し、富谷市へ移す考えです。一方、入院などのできる精神医療の拠点が名

取市から無くなることに当事者や識者が反発しています。

この問題を話し合う31日夜の審議会に村井知事が出席し「私なりの解決策」として名取市に外来と入院機能を備えた精神科の新たな病院を誘致する考えを示しました。

宮城県に精神科病院を持つ法人を対象に公募する方針で、県の土地を無償で貸し最大120床の病院を開設したいとしています。

審議会は3時間を超えて紛糾し、委員からは「現実的に考えて手を挙げる病院があるのか」など実現性を疑問視する声が出ました。

富田博秋会長「この案（名取市の新病院公募）での富谷市移転に反対の方は挙手を（委員11人が挙手）」

一方、村井知事は。

村井知事「これを止めることは当然、何の根拠もありませんからできない。私がやったことに対して止めることができるのは、県議会だけ」

審議会終了後、知事は次のように述べました。

村井知事「これ以上いくら話し合っても、おそらくずっと平行線になるだろうと思いますので、まずは私どもの今考えている案で、募集要項等をしっかり作って募集していきたい」

県は、数日中に新病院の募集要項をまとめる考えです。

村井知事の判断について県精神科病院協会は、本来県が責任をもって担うべき役割を民間に丸投げするものである。富谷市への移転だけでなく、この提案にも反対するとの緊急声明を出しています。

【精神科病院・公募へ】名取市に「民間の精神科病院」 宮城県が誘致案提示 ‘4病院再編’に関連し 県南の精神科患者の不安受け

<https://www.mmt-tv.co.jp/nnn/news10526zpo34lu42yvq7f.html>



2023年9月01日 ミヤギテレビ

宮城県が進める県立精神医療センターを含む4病院の再編に関連して、村井知事は新たに民間の精神科病院を名取市の県有地に誘致する案を提示した。

村井知事「県内で経営実績のある精神科病院の中で、名取市で新病院を建設する病院があるか公募してみたい」

これは、8月31日に開かれた‘県立精神医療センターのあり方を議論する審議会’で、村井知事が明らかにしたものの。

県が進める県立精神医療センターと東北労災病院を富谷市に移転・合築する計画をめぐり、県南地区の精神医療の空白に不安が広がっていた。

村井知事は、不安解消のため名取市に新たに民間の精神科病院を誘致する計画で、土地は県有地を無償で貸し出すとしている。

審議会では、実現性を疑問視する声が上がったが、県は今後公募の手続きを進めたいとしている。

「障害者理解を」 支援者訴え行進

仙 台

障害者への偏見や差別の解消を訴える「みやぎアピール大行動2023」が3日、仙台市中心部であった。障害者や支援者でつくる県内の40団体による実行委員会が主催し、約120人が参加した。

青葉区のせんだいメディアアテックではリレートークがあり、4人が登壇。統合失調症患者は県立精神医療



「私たち抜きに私たちのことを決めるな」と訴えながら行進する参加者

センター（名取市）の富谷市移転構想に反対を訴え

た。県聴覚障害者協会の菅原信哉副会長は、手話教室など聴覚障害者への理解を広める活動を紹介した。

集会後、約100人が「優生思想をゆるすな」「障害者権利条約を守れ」などと書かれたプラカードを掲げ、定禅寺通やアーケード街を巡ってJR仙台駅まで行進した。

実行委の警見俊雄代表は「差別は無理解から生まれる。今後も地道に活動を続けたい」と話した。

知事提案に郡市長 “唐突で遺憾” 病院再編計画めぐり

<https://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20230904/6000024817.html>

2023年9月04日 NHK仙台



県が進める病院の再編計画をめぐり、村井知事が先月末に、名取市に新たな精神科病院を公募する案を示したことについて、仙台市の郡市長は唐突で遺憾だという考えを示しました。

県が進める病院の再編計画で、名取市にある県立精神医療センターを、仙台市にある東北労災病院とともに、富谷市に設置するとしていることをめぐり、村井知事は先

月31日、県南部で精神科の医療提供体制を維持するためとして、名取市に新たな精神科病院を公募する案を示しました。

これについて、仙台市の郡市長は4日の記者会見で「まったくの寝耳に水で、とてもびっくりした」

と述べた上で、再編計画そのものへの疑問が残る中で新たな提案が唐突に示されたのは遺憾だという考えを示しました。

その上で「村井知事には説明責任がある。知事は『職を賭して』という話をしたようだが、そうではなく、医療提供体制や県民の安心をどう作るのかという話だ」と指摘し、村井知事に冷静な対応を求めました。

「村井知事は自己矛盾している」郡和子仙台市長が批判 “4病院再編”で宮城県が示した精神科病院誘致「実現性ない」

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/700803?display=1>



2023年9月04日 tbc東北放送

宮城県が構想する仙台医療圏の4病院再編を巡り、村井知事が県立精神医療センターを富谷市に移転させる代わりに新たな精神科病院を名取市に誘致する考えを示したことに対し郡和子仙台市長は、誘致は困難で「自己矛盾している」と批判しました。

郡和子仙台市長：

「(4病院再編構想で)知事が言っていたのは仙台医療圏の医療的な課題を解決すると

言っていたのに、これについて自己矛盾ではないかと言いたい」

4日の定例会見で郡仙台市長は村井知事の示した考えについて「課題解決の目的を変えて、移転を前提にしていると受けとめられかねない」と批判しました。

「急きょ審議会開催は条例違反」 “4病院再編”で市民団体が宮城県に抗議文

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/700928?display=1>



2023年9月04日 tbc東北放送

宮城県の4病院再編構想を巡り、4日夜開かれる県の審議会について、急きょ3日前に開催を告知したのは条例違反だとして、医療などの市民団体が開催を見送るべきとする抗議文を県に提出しました。

県に抗議文を提出したのは、医療などの団体でつくる「地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会」です。抗議文では、4日夜に開かれる県医療審議会病院部会について、3日前の9月1日に告知したのは、開催7日前までにホームページで審議会の日程を告知するよう定めた県の情報公開条例に違反し知る権利の侵害としています。

ホームページで審議会の日程を告知するよう定めた県の情報公開条例に違反し知る権利の侵害としています。

地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会 岩倉政城共同代表：

「県民が当たり前で情報を知らなければならないものを基本的に踏みにじるもの。どの審議会にも県民が立ち会える民主主義を基本的に保証しなさい（と抗議した）」

4日夜の審議会では、4病院の再編構想で、県が名取市への新たな精神科病院の誘致を提案したことについて話し合われる予定です。抗議文では審議会について、正しい手続きのもと再度、日程を決めるべきとしています。県は「県議会の開会が迫るなか、なるべく早く話し合いを進めるべきと判断した」として、予定通り開催するとしています。

4 病院再編構想新提案 郡仙台市長「市として遺憾 知事の説明責任を」〈宮城〉

<https://youtu.be/VVoNogAd144?si=GeWq2Ji7-c8TLKZw>



2023年9月04日 仙台放送

仙台医療圏の4病院を再編する県の構想をめぐり、宮城県が名取市に精神科病院を誘致する新たな考えを示したことについて、仙台市の郡市長は村井知事に説明責任を果たすよう求めました。

仙台市 郡 市長
「本市としても遺憾だと思います」

県の構想は、太白区の仙台赤十字病院と名取市の県立がんセンターを統合して名取市に、青葉区の東北労災病院と名取市の県立精神医療センターを併設し、富谷市に移転するものです。

この構想をめぐっては、県南地域の精神医療に対し、強い懸念がよせられたことから、県は先週、名取市に民間の精神科病院を公募によって誘致する新たな考えを示していました。

これに対し、郡市長は「移転ありきで、仙台医療圏の課題解決につながっていない」と批判しました。

仙台市 郡 市長

「知事はなぜこういう変遷になったのか、本市に対しても、さまざまな方にも説明責任があると思う」

それでは、先週示された県の提案内容について改めて見ていきます。この4病院の再編構想を巡っては、県立精神医療センターが移転することにより、こちらの県南地域の精神医療に対する、強い懸念や反発の声が寄せられていました。

そこで県が提案したのが、名取市に入院機能を持った新たな精神科病院の開設を目指す構想です。場所は来年3月に閉校する名取市の県高等看護学校跡地を無償貸与するとしていて、公募による法人を誘致するとしています。

また、県はこのほかにも、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に関する予算の大幅の拡充、県の保健福祉事務所の岩沼支所と黒川支所の態勢強化もあわせて提示しています。

9月5日からは県議会の9月定例会が開会します。この4病院再編構想についても論戦が交わされる見通しです。

宮城 4 病院再編構想 名取市への精神科病院誘致・県「候補事業者決定年内にも」

<https://youtu.be/jTFd4kWe4U0?si=ebqAlahIUgLaegTr>

2023年9月04日 仙台放送



4病院の再編構想を巡り、宮城県が先週提案した名取市への精神科病院誘致に関する議論が9月4日に行われました。県はこの中で、年内にも候補事業者を決める方針を明らかにしました。

4日、県庁で開かれた医療審議会病院部会。県は4病院再編に関連して新たに誘致する病院の条件を示しました。4病院の再編とは仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して

名取市に。東北労災病院と県立精神医療センターを併設し、富谷市に移転する県の構想です。

構想を巡っては、県南の精神医療への影響を懸念する声があり、県は先週、名取市の県高等看護学校跡地を無償貸与する形で、入院機能を持つ新たな精神科病院を誘致すると提案していました。

4日の審議会では、県は公募する病院の条件として、入院機能のほか、精神科外来、デイケアなど5つの機能を挙げ、年内にも候補事業者を決定するスケジュールを示しました。

審議会委員

「県立精神医療センターでは1日150人くらい外来患者を診ている。そこにデイケア機能も持って、訪問看護も、急性期入院機能も持って、入退院調整機能も持って、非常にハードな要求がなされている」

審議会委員

「募集対象の、宮城県内で精神病棟を有する病院であっても、実質的には経営者は別と、県外にいることも当然あり得るわけで、はっきりとそこはしておいてほしい」

会の中では、精神科病院協会の岩館会長が「名取市で県立精神医療センターを建て替え、富谷市に民間の精神科病院を誘致した方が現実的」と提案しましたが、県は「現実的ではない」と受け入れませんでした。

また、4日の審議会は県の提案があった翌日、開催の3日前に告示されていて、社会保障推進協議会などが「県の情報公開条例で定められた7日前までに告示されていない」と県に抗議文を提出していました。

審議会委員

「県立精神医療センターでは1日150人くらい外来患者を診ている。そこにデイケア機能も持って訪問看護もやって、急性期入院機能も持って、入退院調整機能も持って、非常にハードな要求がなされている」

県は、委員からの意見を9月11日まで受け付け、正式な募集要項の作成を進める方針です。

宮城県立精神医療センターを残す代案 村井知事の民間精神科病院誘致案を受け精神科病院協会 <https://youtu.be/1Jn1j5fSGQQ?si=2sdciY3MvU3YBmTN>

2023年9月04日 khb東日本放送



村井宮城県知事が、名取市にある県立精神医療センターを富谷市へ移す代わりに名取市に新たに民間病院を誘致する方針を示しました。反対する県精神科病院協会が4日、県立精神医療センターを名取市に残すなどとする代案を示しました。

県の4病院再編構想では、老朽化した県立精神医療センターを、東北労災病院と合築し富谷市へ移す方針です。

村井知事は、この方針に患者や医師らが反対していることを踏まえ、8月31日の審議会で新たに名取市に民間の精神科病院を誘致する案を示しましたが、賛成した委員はいませんでした。

この問題に対し県精神科病院協会が4日「名取市で県立精神医療センターを建て替え、富谷市に民間の精神科病院を公募で誘致する」という逆提案を行いました。

協会は、この案を4日夜に開かれる県医療審議会の病院部会に提出します。

「民間病院では役割を担えない」 村井宮城県知事の民間精神科病院誘致案に精神科医 <https://youtu.be/T11e7v2kjZM?si=ePEm0BMilxy2Vxgy>

2023年9月04日 khb東日本放送



宮城県が進める4病院再編構想で、名取市にある県立精神医療センターを富谷市へ移す計画に反対の声が収まりません。患者を診察し続けている精神科の医師に聞きました。

県は、老朽化した県立精神医療センターを東北労災病院と合築し富谷市へ移す方針ですが、患者や医師らから強い反対の声が上がっています。

村井知事は、この状況を打開しようと8月31日に開かれた審議会で、名取市に民間の精神科病院を誘致する考えを示しましたが、賛成はいませんでした。

審議会委員の原敬造医師は、民間病院では県立精神医療センターの役割をとっても担えないと話します。

県精神神経科診療所協会顧問原敬造医師「県立の精神医療センターというのは、急性期医療だったり24時間の診療体制だったりを保証している病院。同じ機能を持たなければ、病院があるだけになってしまう。しかも民間であれば、経営優先になるので絶対今の質を担保したような医療はできないわけなんです」

県立精神医療センターが富谷市に移転すれば、通えなくなる患者が出て大きな負担を与えかねないと懸念します。

県精神神経科診療所協会顧問原敬造医師「(移転先まで) 20キロだからね。見捨てられた感がある。主治医と長い関係を作っているんですよ。統合失調症の患者さんだから多くはね。うちだって開業してからずっとかかっている患者さんは一杯いる。35年だけどね」

その上で、知事には患者など当事者の声を十分に聞かずに計画を進めないでほしいと訴えます。

県精神神経科診療所協会顧問原敬造医師「当事者の人たちの意見が一番大事。3000人以上の患者さんが通院し入院もしている。そういう人たちが名取市から移ってほしくないと言っているのだからそれが一番の原点ですよ」

「新病院は自己矛盾では」 村井宮城県知事の民間精神科病院誘致案を受け郡仙台市長 <https://youtu.be/czQzNttKl3M?si=p6J2psfaQWKj4XGn>



2023年9月04日 khb東日本放送

郡仙台市長は、宮城県名取市に民間の精神科病院を誘致する村井知事の案について寝耳に水とした上で「新たな病院をつくることは自己矛盾ではないか」と疑問を呈しました。

郡仙台市長「県立精神医療センターが移転することによって、ニーズが多い精神医療に対して新たな病院をつくるということになるわけですよ。これについて、自己矛盾は

ないのかということも申し上げなくちゃならない」

郡市長は4日の定例会見でこのように述べ、名取市に精神科病院を誘致するという知事の案に疑問を呈しました。

また、県の審議会で賛同を得られないまま公募に踏み切ろうとしていることに強い不信感を示しました。

郡仙台市長「(審議会で) 全員が反対と聞いているし、多くの皆さんの疑問にはお応えいただけないままこのようなことが行われることについては、本市としてもとても遺憾だと思います」

【まったく寝耳に水】村井知事の名取市への新・精神科病院誘致案 郡仙台市長「多くの疑問に答えないまま行われるのは、とても遺憾」

<https://www.mmt-tv.co.jp/nnn/news1057om8zzgq9ricrtc.html>



2023年9月04日 ミヤギテレビ

宮城県の4病院再編に関連し、村井知事が名取市への新たな精神科病院の誘致を打ち出したことに対し、4日 仙台市の郡市長は「多くの疑問に答えないまま行われるのは、とても遺憾」などと述べた。

郡仙台市長「(村井知事の) 今回の案ですがけれども、まったく寝耳に水でございましたし、とてもびっくりしました」

県の4病院再編計画では、青葉区の東北労災病院と名取市の県立精神医療センターを 富谷市に移転・合築する計画で、村井知事は先週の審議会でも南地域に生じる精神科医療の空白を補おうと名取市に新たに民間の精神科病院を誘致する計画を提示した。

しかし、審議会では実現性を疑問視する声が上がリ、賛成する委員はいなかった。

この状況を受け、郡仙台市長は4日の定例会見で村井知事は説明責任があると述べた。

郡仙台市長「(審議会では) 全員反対だったと聞いているし、多くの方の疑問に答えないまま、このようなことが行われるのはとても遺憾だと思います。知事が言っていたのは仙台医療圏の課題の解決。県立精神医療センターが移転することによって、ニーズが多い精神医療に対して、新たに病院を作ることことになる。これについて自己矛盾はないのか」

村井知事は、新たな精神科病院では、外来、デイケア、訪問看護、入院などの機能を果たすことが条件とし、土地は県有地を無償で貸し出すとしている。

募集要項については、4日夜に開かれる県の審議会でも協議される予定。

4病院再編 民間精神科病院計画

県に不快感「寝耳に水」

◇ 郡和子仙台市長は4日の定例記者会見で、村井嘉浩知事が仙台医療圏4病院の再編構想に、名取市に民間の精神科病院を誘致する計画を加えたことに関して「自己矛盾があるのではないかと強い口調で疑問を投げかけた。

仙台市長

計画について「ニーズが高い精神医療の病院移転を進めながら、新たに造ることになる。傍観するわけにはいかない」と指摘。実現性にも言及し「簡単にできる話ではない」と懐疑的な姿勢を示した。

計画は8月31日、県立精神医療センター（名取市）

の富谷市移転後の対応策として示された。郡市長は「寝耳に水だった。（市民らの）疑問に答えないまま、移転を前提として（病院誘致の）公募を始めるとしたら、遺憾だ」と不快感をあらわにした。

世界最高レベルの研究力を目指し、政府が基金で支援する「国際卓越研究大学」の認定候補に東北大が選ばれた。

郡市長は「研究の成果をまちづくりを生かすことで、市民の利便性や幸福度が高まる。留学生らが大幅

に増えることも見込まれ、受け入れに向けた対応を進める」と述べた。

名取で整備公募案提示

県が主導する仙台医療圏4病院の再編構想で、県立精神医療センター（名取市）の富谷市移転に伴う県南患者の受け皿として民間の精神科病院を名取市に誘致する計画について、県は4日の県医療審議会病院部会で募集要項の案を示した。

宮城県



精神科新病院の公募案が示された審議会

デイケア、訪問看護など要件

新病院に求める役割として、訪問看護の機能を備えること、患者の地域移行の推進と、急性期患者の入院に向けた外来やデイケア、対応することを挙げた。応

県医療審病院部会

名取市に民間の精神科病院を誘致する際の募集要項案を検討した4日の県医療審議会病院部会は、県立精神医療センターの富谷市移転構想自体の是非は所管外であるとして、議論に一線を引いた。

「所管外」議論に一線

岩館敏晴委員（みやぎ静心会理事長）は要項案が新病院に求める機能について「外来もデイケアも訪問看護も、かなりハードな内容だ。これをたかだか120床の病院でやるのは現実的でなく、手を挙げる病院はないだろう」と語った。岩館委員は県精神科病院協会会長として移転反対を堅持。こ

反対意見や県の性急さ指摘も

うした状況に橋本省委員（県医師会副会長）は「精神科の先生方と県の意見が平行線で議論が進まない。公募してみても応募者が出なければ次の手を考えてはどうか」と発言した。一方、安藤健一郎委員（仙台市医師会会長）は県の性急さを指摘。「精神科の先生や利用者と意見を出し合い、時間をかけて決めてほしい」と注文を付けた。張替秀郎部会長（東北大病院長）は「公募に手が挙がった場合、要項を満たすかを審議するのがこの部会の責任」と整理。委員に対し、要項案の修正点などを県に伝えるよう求めた。

募資格は県内で精神科病院を運営する法人。病床は最大120床で、用地として県有地を無償で貸与する。募集開始日などの日程は

現時点で未定。センターの富谷移転が実現しない場合、病院開設も同様との留意事項も記載した。協議には、医療審議会の承認を得る必要がある。県は新病院の開設者の決定後、機能などが適切かどうかを病院部会に諮問する方針。

「富谷誘致を」代案公表

◇ 県立精神医療センター（名取市）の富谷市移転構想を巡り、県精神科病院協会（岩館敏晴会長）は4日、県南患者の受け皿として名取市に民間精神科病院を誘致する県の計画に対し、センターを名取市に残した上で富谷市に民間病院を誘致する代案を公表した。

県精神科病院協

代案の概要は図の通り。センターは富谷市に移さず名取市内で建て替える。県内の精神科医療の課題で、移転構想の狙いでもある精神疾患と身体疾患の合併症への対応強化のため、仙台市青葉区から富谷市に移る東北労災病院と連携する民間病院を誘致する。

現センター名取で建て替え提案

センターの建て替え先は、県が8月31日に公表した民間病院の誘致計画で用地として示した、県高等看護学校跡地（約6700平方メートル）が使えるとした。センターの向かいに県立病院機構が保有する土地（約1万3000平方メートル）も活用できると指摘した。



れ、2019年2月に機構に返還された。病院協会は「仮設住宅があったころは移転先に挙げにくかったが、状況は変わったとす

病院機構の土地は元々はセンターのグラウンド。東日本大震災後に仮設住宅の用地として県に貸し出さ

県の構想ではセンターを富谷に移転し、東北労災病院と合築して合併症対応の強化を図る。移転後の「穴」を埋めるために名取に民間病院を誘致し、外来、入院、デイケア、訪問看護のほか、地域の福祉施設などの連携機能を持たせる。病院協会は「民間病院を新設してセンターの機能を継承させるというなら、センターを残せばいい。協会の提案は関係者の誰もが困らず、県の精神科医療の底上げになる」と強調する。

部会開催「条例違反」医療団体 要綱無視と抗議

県立精神医療センター（名取市）の富谷市移転構想を議論した4日の県医療審議会病院部会に関し、県内医療・福祉など7団体でつくる「地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会」は同日、県情報公開条例を踏まえた開催告知が適切にされず「条例違反」と抗議した。

同条例を踏まえた県の事務取扱要綱は、審議会などを公開または一部公開で開催する際、事前の周知を義務付ける。「少なくとも開催の日の7日前までに」ホームページに日時や場所、議題を掲載すると定める。今回の病院部会の開催告知は3日前の1日。県は、8月31日に公表した名取市への民間精神科病院の誘致計画を病院部会であるべく早く議論してもらおうと、事務要綱を無視して開催を急いだ格好だ。

連絡会は県庁で記者会見し「（移転構想を進める）村井嘉浩知事の意向が職員を縛り、本来の形での開催ができていないのではないかと危惧する」と述べた。

4日は病院部会に先立ち県医療審議会の医療計画部会も開かれた。こちらは7日前の8月28日に開催告知されていた。県医療政策課は「両部会は委員の顔ぶれが異なるので、異例だがこの日に開催した」と説明した。

名取に精神科病院の案で県“年内にも事業者候補を”

<https://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20230905/6000024827.html>

2023年9月05日 NHK仙台

宮城県が進める病院の再編計画で名取市に新たに精神科病院を公募する案について、県は、年内にも事業者の候補を決めたいとしています。

宮城県の村井知事は、名取市にある県立精神医療センターを仙台市にある東北労災病院とともに、富谷市に設置する計画に関連し、県南部の医療提供体制を維持するためとして、名取市にある県高等看護学校の用地に新たに精神科病院を公募する考えを示しています。



4日夜、県庁で開かれた審議会で、県の担当者は、精神科医などで作る選定委員会で病床規模や診察内容、事業者の経営状況などを評価した上で、年内にも事業者の候補を決めたいという方針を示しました。

これに対して県精神科病院協会に所属する一部の委員は、県の計画とは逆に、県立精神医療センターを名取市内で建て替えた上で、富谷市で東北労災病院とともに設ける病院を新たに公募すべきだと主張しましたが県は「現実的ではない」として応じま

せませんでした。

県は今後、公募の募集要項を策定し、事業者の決定に向けた手続きを始めることにしています。

【精神医療センターをめぐる経緯】

宮城県は医療機関を適正に配置するとして、おとし9月に示した計画が、名取市の「県立がんセンター」と仙台市の「仙台赤十字病院」を統合して名取市に設置するとともに、名取市の「県立精神医療センター」と仙台市の「東北労災病院」をそれぞれの経営主体を残したまま富谷市に設置するというものです。

このうち名取市の「県立精神医療センター」について、県は老朽化が激しいことや患者の高齢化で精神疾患以外の病気が増え、合併症への対応が困難だとして移転する場所を探していました。そうした中で、ことし2月、富谷市への移転を含む案が専門家で作る県の審議会で示されましたが委員から反対する意見が出されました。

反対の理由は、仙南地域の患者にとって富谷市は遠く、通院が困難で入院する場合はさらに負担がかかること、精神医療センターを中心に長年かけて築かれてきた訪問看護やグループホーム、それに作業所などの「地域包括ケア」の仕組みが失われかねないという懸念があることが挙げられました。また、患者の家族や精神科医療の関係者などが計画の撤回を求め、県に要望や署名が出されるなど移転に反対する声が上がっています。

こうしたなか先月31日、専門家で作る審議会の場に村井知事みずからが出席し、県南部で精神科の医療提供体制を維持するとして、外来や急性期の入院などの機能を持つ新たな民間の精神科病院を公募した上で名取市に設ける新たな案を示しました。

ただ、この案に対しても審議会の委員からは「経営が成り立つはずもなく、現実的ではない」とか「新たな案は認められない」といった反対意見が出ています。

「そのまま名取市に残して今まで通りやったらいいのでは」 4病院再編問題で県精神科病院協会が逆提案 「県立精神医療センターを建て替え富谷市に精神科病院誘致」宮城 <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/701765?display=1>



2023年9月05日 tbc東北放送

仙台医療圏の4病院再編構想を巡り、宮城県が名取市への誘致を新たに提案している民間の精神科病院について、県は、患者の円滑な転院を進めるため、デイケアや訪問看護の機能を求めるとしました。

県の4病院再編構想は、仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市に、東北労災病院と県立精神医療センターを併設して富谷市に移転するものです。さらに県は、8

月31日、名取市の県高等看護学校の跡地に、新たに民間の精神科病院を誘致する案を示しています。

これについて、4日夜開かれた医療審議会病院部会では、県が、今年中に誘致する病院の候補を決める方針を示しました。また、募集にあたっては、患者の円滑な転院を進めるためデイケアや訪問看護の機能を求めるとしました。

これに対し、県精神科病院協会は、県立精神医療センターを現在の建物の向かい側に建て替え、富谷市に精神科病院を誘致すべきと「逆提案」しました。

県精神科病院協会 岩館敏晴会長：

「そのまま名取市に（精神医療センターを）残して、今まで通りやったらいいんじゃないのと思うのが普通感覚」

県は周辺道路の狭さなどから建て替えに向かないとして、逆提案は「現実的でない」と反論しました。

「最後の最後でこの急ぎ方はどうなんだろうな」 “4病院再編問題”新提案の民間精神科病院誘致めぐり紛糾 県精神科病院協会は逆提案 その内容は 宮城

<https://newsdiq.tbs.co.jp/articles/tbc/703005?display=1>



2023年9月05日 tbc東北放送

仙台医療圏の4病院再編構想にからみ、宮城県が名取市への誘致を新たに提案している民間の精神科病院についてです。県は、今年中に誘致する病院の候補を決める方針ですが、県精神科病院協会は、逆提案をするなど反発しています。

県医療審議会病院部会 安藤健二郎委員：
「最後の最後でこの急ぎ方はどうなんだろうなと。精神科の専門の医師が納得しない状況ではなかなか進まないと思う」

県が急ぎよ4日夜、開いた医療審議会病院部会は、仙台医療圏の4病院再編構想を巡り紛糾しました。県が8月31日、新たに名取市の県高等看護学校跡地への民間の精神科病院の誘致を提案したからです。審議会で県は、今年中に誘致する病院の候補を決める方針を示し、募集にあたっては、患者の円滑な転院を進めるためデイケアや訪問看護の機能を求めるとしました。

これに対し、県精神科病院協会は、名取市の県立精神医療センターは現在の建物の向かい側に建て替え、さらに富谷市に精神科病院を新たに誘致すべきと「逆提案」しました。

県精神科病院協会 岩館敏晴会長：

「そのまま名取市に精神医療センターを残して、今まで通りやったらいいんじゃないのと思うのが普通の感覚」

県は周辺道路の狭さなどから建て替えに向かないとして、逆提案は「現実的でない」と反論しました。

5日、記者の質問に答えた村井知事は。

逆提案に村井知事の答えは

村井知事：

「(逆提案の) 富谷市になると自分で土地の手当てをしてもらうことになる。現時点でもかなりハードルが高い。審議会の意見がどのような形になろうとこれ(民間の病院誘致)は進めていく」

こうした中、5日、県庁の前には、県の4病院再編構想に反対する市民団体のメンバーらおよそ100人が集まり「知事は患者やその家族の声を聞くべき」などと声を上げました。

ともに仙台市政をつくる仙台市民の会 新里宏二会長：

「選挙での公約がすべてであって、そこで暮らす住民、患者、医療関係者すべてを無視して、自分の公約のために無視しているのが露呈したのではないか」

この街頭行動は、県議会9月定例会の開会にあわせて行われたもので、参加した市民らは「十分な説明がないまま4病院の移転・集約構想が強硬に進められている」「知事の提案は誠実さに欠ける」などとして、今後も反対運動を続けていくとしています。

県の構想と逆提案、その違いは

改めて、県の構想と今回の逆提案について確認します。

県の構想では、仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市に、東北労災病院と県立精神

医療センターを併設して富谷市に移転。

また、新たな提案として名取市の県高等看護学校の跡地に、新たに民間の精神科病院を誘致するとしています。

これ対し、県精神科病院協会の逆提案では、名取市の県立精神医療センターは、現在地の向かい側に建て替え、さらに富谷市には、精神科病院を新たに誘致すべきとしています。

県が仙台医療圏の再編構想を打ち出して3年あまり。患者の立場を最優先した議論が求められます。

4 病院再編の行方は…宮城県議会 9 月定例会開会 〈宮城〉

<https://youtu.be/F3qjawZrV28?si=zj3fjNocFhw0DOTz>



2023年9月05日 仙台放送

5日、宮城県議会9月定例会が開会しました。4病院の再編のほか、総額およそ45億円の補正予算案などについて議論される見通しです。

県議会9月定例会は5日に開会し、県は、2019年の東日本台風で被害を受けた河川の復旧費用など総額およそ45億円の補正予算案を提出しました。

また、県が新たな提案をした4病院の再編構想についても、来週から始まる代表質問、一般質問などを中心に議論が行われる見通しです。

村井知事

「政策医療の課題解決に向けて、病院再編に係る協議も含め、着実に歩みを進めてまいります」

議会開会前には、県庁前で病院再編に反対する市民団体などが集会を開き、議会での活発な議論を求めました。

ともに市政をつくる仙台市民の会 新里宏二会長

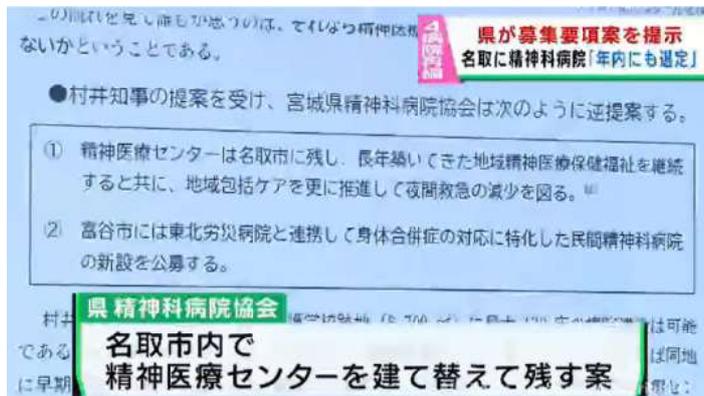
「知事がこの前の審議会で私を止められるのは県議会だけだということでした。県議には、撤回をさせるべく頑張ってください」

県議会9月定例会は来月4日まで、30日間の日程で開かれます。

宮城・名取市への民間精神科病院誘致計画 年内の事業者選定を目指す

<https://youtu.be/OhwFN1hpmDs?si=E6qKbq95FFT6Dx0J>

2023年9月05日 khb東日本放送



宮城県は、8月31日に名取市の県立精神医療センターを富谷市へ移す代わりに、名取市には新たに民間の精神科病院を誘致する方針を打ち出しました。実現のため、県は民間病院の募集要項案を示し、年内の事業者選定に意欲を見せました。

県の4病院再編構想では、老朽化した名取の県立精神医療センターを東北労災病院と合築し、富谷市へ移す方針です。

富谷市移転への反対を踏まえ、名取市には新たに民間の精神科病院を誘致し、入院や外来に対応します。

県は4日夜、県医療審議会の病院部会で募集要項案を示しました。用地は県の土地を無償で貸し出す一方、施設の建設費や維持管理費は事業者が負担することなどが盛り込まれています。今後、選考委員会でのプレゼンテーションなどを経て、年内に事業者を選ぶ考えです。

一方、県精神科病院協会は4日夜の部会で県の構想とは反対に、名取市で県立精神医療センターを建て替えて残す案を示しました。これに対して県は、適した建設地を確保できないなどと反論しました。

県保健福祉部大森秀和副部長「県の提案より現実的ではないかと、はるかに現実的ではないかというお話でございしますが、県と致しましてはご提案を見ましたが、逆提案の方が現実的とは考えておりません」

県は、募集要項案への意見を聞いた上で手続きを進めていく考えですが、反発の声も強く先行きは見通せません。

県精神科病院協会の代案について村井知事は「名取の場合は県の土地を無償でお貸しできるが富谷になると、自分で土地を手当てしていただくことになる。また、労災病院とゼロから協議しなければならないので、よりハードルを高くすることになりかねない」と述べました。

宮城県の病院再編構想に村井知事が改めて意欲を示す

<https://youtu.be/qWtE1e6Sflc?si=4t3fquY9RTtp7AeK>

2023年9月05日 khb東日本放送



宮城県は、名取市の県立精神医療センターを富谷市へ移す代わりに名取市には新たに民間の精神科病院を誘致する方針を打ち出しました。村井知事は「名取の場合は県の土地を無償でお貸しできるが代案を採用した場合自分で土地を手当てしていただくことになる。また、労災病院とゼロから協議しなければならないので、よりハードルを高くすることになりかねない」と述べました。

仙台医療圏4病院の再編構想について根強い反発が残るなか、5日に開会した宮城県議会9月定例会で、村井知事は、改めて再編構想について意欲を見せました。

村井知事知事「政策医療の課題解決に向けて、病院再編にかかる協議も含め、着実に歩みを進めて参ります」

知事は31日の審議会で、名取市の県立精神医療センターを富谷市に移す代わりに名取市で新たに民間病院を公募する方針を示しましたが、会議は紛糾し賛成する委員はいませんでした。

知事は議会の終了後、改めて審議会で説明する意向を示しました。

村井知事「(県精神保健福祉審議会に対して)もう一度どのような内容なのかと、公募の内容について説明する機会をいただければと」

議会の開会に先立ち、4病院再編に反対する市民約100人が、県庁前で抗議の声を上げました。

「村井知事は県民の声を聞け！」

抗議を呼びかけた団体の代表新里宏二弁護士「知事がこの前の審議会で私を止められるのは県議会だけだと。(議会には)宮城県で暮らす、特に今、病院があるところで暮らす住民や患者さんの声をきちっと知事に伝えてほしい」

【「現実的でない」と意見あるも…】

宮城県「病院運営候補者を‘年内に決める’」方針改めて打ち出す 名取市への新「精神科病院」誘致案

<https://www.mmt-tv.co.jp/nnn/news105hfoxjt9eogcq6dc7.html>



2023年9月05日 ミヤギテレビ

4病院再編に関連し、宮城県の村井知事が示した名取市への新「精神科病院」誘致案について、県は、4日夜に開かれた医療審議会で、病院を運営する候補者を「年内に決める」という方針を、改めて打ち出した。

4日夜の県医療審議会病院部会には、主に医師で構成される委員11人が出席した。

県の4病院再編計画では、青葉区・東北労災病院と名取市・県立精神医療センターを富谷市に移転・合築する計画で、村井知事は、8月31日 県南の精神科医療の空白を補うため、名取市に新たな精神科病院の誘致案を示していた。

この誘致案について、委員からは「現実的でない」や県立精神医療センターを名取市に残し、新しい精神科病院を富谷市に設置すべきなど意見が出た。

しかし、4日夜の時点では、県は「年内に病院を運営する候補者を決める」方針を、改めて打ち出した。

【医療審議会の意見がどのような形になろうと進める…】
宮城・村井知事 新・精神科病院の「名取への誘致急ぐ考え」示す
<https://www.mmt-tv.co.jp/nnn/news105zvf0ypvqzir7nmwi.html>



2023年9月05日 ミヤギテレビ

村井知事は、名取市への新たな精神科病院誘致案について5日取材に応じ、「県医療審議会」の意見に関わらず誘致を急ぐ考えを示した。

村井知事「年内というか出来るだけ早く、私としては公募したい。（県の医療）審議会の意見がどのような形になろうと進めていく」

また、4日夜の審議会で出た「新・病院を、名取市でなく富谷市に設置すべき」との意見については、選択できない考えを示した。

村井知事「名取の場合は、県の土地を無償でお貸しする。富谷になりますと、自分で土地を手当てしていただくことになります。また労災病院とゼロから協議をしないことにならないことにならないので、現時点でもかなりハードルが高いわけですから、よりハードルを高くすることになりかねない」

村井知事は、4病院再編で生じる県南地域の精神科医療の空白を補うには、名取市への新たな精神科病院の誘致が必要とした上で、今年度中に4病院再編の基本合意を目指す考えに変わりはないとしている。

名取の新病院公募「できるだけ早く」
4病院再編構想めぐり村井知事

<https://www.asahi.com/articles/ASR956V6DR95UNHB004.html>

2023年9月6日 朝日新聞



宮城県が主導する4病院の再編構想を巡り、村井嘉浩知事は5日、名取市内に置く新たな民間精神科病院の公募について「できるだけ早くしたい」と述べた。県精神保健福祉審議会で改めて詳細を説明した上で、公募の手続きを進めていく考えを示した。

この日開会した県議会本会議後、報道陣の取材に答えた。県は8月末、同市内に外来と入院機能を備えた精神科病院を公募する案を提示。同市の県立精神医療センターが富谷市に移転した場合、県南部に住む患者の通院や入院が難しくなるため、公募は「打開策」（村井氏）だとしている。

ただ、医療関係者らから「手を挙げる病院があるのか」と実現性を疑問視する意見が出ている。村井氏は「一つ一つ大きな病院にあたり、私の思いをお伝えして、手を挙げて下さるようにして参りたい」と話した。

一方、同センターの富谷移転に反対する県精神科病院協会は4日、同センターを名取市に残した上で、民間精神科病院は富谷市で公募すればよいとする「逆提案」を打ち出している。

この逆提案について、村井氏は「名取の場合は県の土地を無償で貸すが、富谷では自分で土地を手当てしていただくことになる。（同センターと合築が検討される）東北労災病院ともゼロから協議しなければならない」と指摘。「よりハードルを高くすることになりかねない」と語り、難色を示した。

県の再編構想は、同センターを東北労災病院（仙台市）と合築して富谷市に、仙台赤十字病院（仙台市）を県立がんセンター（名取市）と統合して名取市に設置するもの。村井氏は公募の結果を見極めつつ、病院側と年度内のできるだけ早い時期に基本合意をめざす考えを改めて示した。（中島嘉克）

2023年9月06日 河北新報

民間精神科病院の募集要項案

県、審議会に説明方針

県が進める県立精神医療センター（名取市）の富谷市移転構想で、県南患者の受け皿として民間精神科病院を名取市に誘致する計画を巡り、村井嘉浩知事が5日、県庁で報道各社の取材に応じた。県精神保健福祉

審議会に募集要項の案を説明した後、新病院の開設者の公募手続きに入る方針を示した。

県が8月31日の審議会で誘致計画を公表した際、要項案は示していなかった。精神科医や当事者でつくる

審議会が要項案を了承する可能性は低いと、県が構想を進める際の制度上の要件にはなっていないため、村井知事は「審議会の意見がどのような形になろうと進める」と強調した。

センター移転を含む仙台医療圏4病院の再編構想で、民間2病院の運営主体とそれぞれ進める協議については「新しい精神科病院ができることになれば、話が変わる。公募で病院が見つかると、見つからないか、見ればどうするのかなどが決まらなと（各運営主体との）基本合意には至らない」との見解を示した。

市有地の取得を 南東北病院要請

岩沼市「慎重に検討」

岩沼市は5日、市内で総合南東北病院（271床）を運営する社会医療法人将道会（岩沼市）から、新たな病棟の建設用地として、岩沼市民会館の駐車場などの市有地を取得したいと要請があったことを明らかにした。同日開会の市議会9月定例会で説明した。

市有地は、病院と隣接する市民会館北側の駐車場（390台分）と緑道の計

約1万4000平方メートル。市が8月に受け取った要請書によると、法人は2025年までに用地取得して

感染症対策に対応した病棟や集中治療室（ICU）を設置し、30年の診療開始を目指している。

市民会館周辺には別の駐車場（570台分）もあり、市は目的外利用を防ぐため両駐車場に有料ゲートを来春設ける方針。佐藤淳一市長は「市民会館のあり方や地域医療態勢の充実などの観点から、利用者や市民が納得できるように慎重に検討

する」と述べた。